

英語

指導改善ポイント①

「聞くこと」「読むこと」はいつも同じ指導でよいのかな？

必要な情報、概要や要点を捉える力を効果的に高めるにはどのように指導すればいいの？

もやっと

こんな悩みはありませんか？



教科書のリスニングのページは、英語の音声を繰り返し聞かせて教科書の問題を解かせて、答え合わせをしています。

私も同じです。でも、子どもが「必要な情報を聞き取ることができるようになっていく」という実感がありません。



教科書の本文を読む際には、段落ごとに区切って、内容を捉えるようにしたり、語句の意味を確認したりすることを大切にしています。

私も同じです。でも、このような指導で、子どもに概要や要点を読み取る力が付いているのかどうか自信がありません。



すっきり

このような解決方法があります！

Point 1

聞き取りを行う前に、目的や自分の置かれた状況を確認して、課題解決のための**キーワードや手がかり**を予測させましょう。

- 何のために聞くのか、自分はどのような状況にいるのかを確認し、キーワードや手がかりを予測することで、子どもはキーワードに着目して聞き取りを行います。
- 聞き取りを行う前に、リスニングのテーマについて先生と子ども、あるいは、子どもたち同士でやり取りすることは、既有知識や背景知識の活性化につながります。

→詳しくは P.13 へ！

Point 2

読み取りを行う際には、文と文との関係を正確に読み取らせ、**概要や要点を比較・検討**させましょう。

- 例えば、段落ごとに主な内容を表す英文に線を引くことで、主な内容を表す英文とその具体的な情報を表す英文を区別しながら読むように指導します。
- 例えば、主な内容を表す英文として線を引いた理由を述べ合ったり、概要としてまとめた英文に情報の不足や偏りが無いかを比較・検討したりするよう指導します。

→詳しくは P.14 へ！

すっきり の指導がよい理由

令和5年度全国学力・学習状況調査で課題が見られた問題

3	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる。	正答率	全国 41.2%	県 45.8%	自校 %
		(■解説資料 P.19~P.21) (■報告書 P.28~P.33)			
7(2)	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる。	正答率	全国 34.7%	県 34.4%	自校 %
		(■解説資料 P.30~P.33) (■報告書 P.42~P.48)			

日常生活では、**目的をもって聞いたり、自分の置かれた状況から判断したりすることが多い**からです。

例えば、店や公共交通機関でアナウンスを聞く際、自分が必要とする情報を中心に聞き、何が述べられているのかを理解しようとしています。聞く際の状況や目的を明示して、どのような情報が必要かを考えさせた上で、その部分を集中して聞き取る活動を繰り返し行いましょう。

概要を捉える際には、例えば「ペアで『5W1H』について質問し合いながら読む」、「図や表にまとめながら読む」、「時を表す語句に着目して読む」、「各段落の最初の1~2文をまず読む」等の活動に取り組むことが考えられます。読む目的に合わせた指導を繰り返し行いましょう。

